

合流式下水道緊急改善計画 事業評価シート(事後評価)

評価実施年月:平成29年3月

1. 対象事業	玉名市公共下水道事業																							
2. 実施主体名称	熊本県玉名市																							
3. 計画期間	H.17~H.21																							
4. 対象事業の進捗状況	<p>計画に基づき、以下の対策を実施した。</p> <p>(目標①)汚濁負荷量の削減 ⇒簡易処理の高度化(1,500m³/時)</p> <p>(目標②)公衆衛生上の安全確保 ⇒簡易処理の高度化(1,500m³/時) ※【目標①】と同様</p> <p>(目標③)夾雑物の削減 ⇒高速ろ過 + 既設雨水沈砂池 + スクリーン</p>																							
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p>【改善目標】</p> <p>(目標①)汚濁負荷量の削減 ⇒排出汚濁負荷量を分流式下水道並み(BOD:22.4t/年)とする。</p> <p>(目標②)公衆衛生上の安全確保 ⇒未処理放流回数を半減し、31回/年以下とする。</p> <p>(目標③)夾雑物の削減 ⇒公共用水域への夾雑物の流出を極力防止する。</p> <p style="text-align: center;">【改善目標に対する達成状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">改善項目</th> <th style="width: 25%;">評価指標</th> <th style="width: 10%;">整備前</th> <th style="width: 10%;">改善目標</th> <th style="width: 10%;">事後評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①汚濁負荷量の削減</td> <td>排出汚濁負荷量(BOD)</td> <td>24.3t/年</td> <td>22.4t/年</td> <td>22.1t/年</td> </tr> <tr> <td>②公衆衛生上の安全確保</td> <td>未処理放流回数</td> <td>62回/年</td> <td>31回/年</td> <td>28回/年</td> </tr> <tr> <td>③夾雑物の削減</td> <td>夾雑物の流出防止</td> <td>既存施設※ のみ</td> <td>既存施設※ + 高速ろ過</td> <td>既存施設※ + 高速ろ過</td> </tr> </tbody> </table> <p>※既存施設:雨水沈砂池+スクリーン</p> <p>【改善期限までの目標達成の見通し】 対策は全て完了しており、改善目標は達成している。</p>				改善項目	評価指標	整備前	改善目標	事後評価	①汚濁負荷量の削減	排出汚濁負荷量(BOD)	24.3t/年	22.4t/年	22.1t/年	②公衆衛生上の安全確保	未処理放流回数	62回/年	31回/年	28回/年	③夾雑物の削減	夾雑物の流出防止	既存施設※ のみ	既存施設※ + 高速ろ過	既存施設※ + 高速ろ過
改善項目	評価指標	整備前	改善目標	事後評価																				
①汚濁負荷量の削減	排出汚濁負荷量(BOD)	24.3t/年	22.4t/年	22.1t/年																				
②公衆衛生上の安全確保	未処理放流回数	62回/年	31回/年	28回/年																				
③夾雑物の削減	夾雑物の流出防止	既存施設※ のみ	既存施設※ + 高速ろ過	既存施設※ + 高速ろ過																				
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<p>下水道法施行令第6条第2項等に基づく吐口からの放流水質の調査結果 BOD:35.3mg/L(平成28年6月19日測定)</p>																							
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<p>SPiRiT21承認技術である「雨天時高速下水処理システム(高速ろ過設備)」を採用 改善手法の決定の際、「分流化及び貯留方式」との比較検討を行い経済的であった。</p>																							
8. 今後の方針	<p>玉名市では、合流式下水道緊急改善計画で設定した改善対策の整備が全て完了したことから、当面の目標については達成されている状況である。今後は、整備した施設をきめ細かに維持管理するとともに、汚濁負荷量等の推移や新技術の動向に注視し、更なる合流式下水道の改善に努めていくこととしている。</p>																							